

7 さがえ協力隊通信



No.2026-7-1 寒河江市で活動する地域おこし協力隊の日々の様子や取り組みをお伝えします。

寒河江市
地域おこし協力隊ページ



農林課所属

佐藤義輝

さとう よしき

地域農業振興支援
活動1年目

活動報告



デラウェアの収穫

7月、さくらんぼシーズンは終わりましたが、他の果樹はこれから旬な物も多いので様々な果樹農家さんと研修しています。写真はデラウェアで、ビニールハウス内での作業になりますが、ハウスの穴が開いている箇所やビニールの間からツバメやハクビシンが入って来て実を食べてしまうこともあります。毎日園地の状態も確認し、収穫時でも粒が小さいのもあり、取り扱いには注意しました。デラウェアは私も食べさせてもらいましたが、糖度が高く甘さがあり、小粒で種なしなのでとても食べやすいです。葡萄は来月末まで他の品種も収穫が続きますので、まだまだ楽しみです。

活動報告



生涯学習課所属

財田翔悟

たからだ しょうご

地域芸術文化発展支援
活動1年目



南部地区公民館のワークショップ

南部地区公民館で小学生向けにワークショップを行いました。様々な和紙を切り貼りして、オリジナルうちわを作るという内容でした。普段、触れる機会が少ない和紙に馴染みを持ってもらい、良さを感じてもらいたい、という気持ちでやってみました。参加者は学年もバラバラだったのですが皆さんが楽しそうにどんどん進めてくれて、いい作品がいっぱい生まれました。今後も市内で色々な方が楽しめるワークショップを開催したいです。

活動報告



生涯学習課所属

中根隆弥

なかね りゅうや

地域芸術文化発展支援
活動1年目



展覧会でのアーティストフォト

東北芸術工科大学有志の学生さんたちが企画した、『田代百年区域』という展覧会に参加しました。田代地区にある空き家（旧沖津邸）を会場とし、現代において「私たちは何を残し、何を捨てるのか。」という問いをテーマとした展覧会です。場所の活用という目的以前に、素直な敬意を持って空間と接する若者たちの姿を見ました。私を含めた参加作家・関係者が田代地区の歴史や旧沖津邸に残された気配に触れ、それぞれのアプローチで作品を紡いだ時間は、残されてしまったモノたちと現代を生きる私たちとの間に、新たな関係性を結びなおす営みであったように感じました。

7 さがえ協力隊通信



No.2026-7-2 寒河江市で活動する地域おこし協力隊の日々の様子や取り組みをお伝えします。

寒河江市
地域おこし協力隊ページ



農林課所属

三浦一志

みうら かずし

地域農業振興支援
活動2年目

活動報告



ビニールハウスの修復

7月はさくらんぼ作業の片付けや管理作業を中心に活動しました。写真は強風で管理させていただいたビニールハウスが剥がれたものです。初めての大きなトラブルで非常に慌てましたが、近隣農家の方に協力させていただいてなんとか修復させました！

片付け作業をしていて、改めて全て通しての管理の大変さや楽しさを感じられたさくらんぼシーズンになったなあと振り返りながら、次の野菜の収穫に向けた作業を行っていました！8月も野菜の収穫を行う予定なのでノンストップで頑張りたいと思います！

活動報告



さくらんぼ観光課所属

廣瀬俊典

ひろせ しゅんすけ

物産振興支援
活動2年目



企画作業の様子

今月は一年目から進めている寒河江ならではのウイスキー商品開発の企画作業を集中して行いました。見学等で収集した情報をもとにテスト品を制作しています。失敗する点も多々ありましたが、色々な方の協力もあり、ようやくテスト品完成までもっていくことができました。そのテスト品を業者の方と一緒に今後ブラッシュアップできればと考えております。今はまだ多くのことをお伝えできませんが、無事販売まで進められるよう精進してまいります！

活動報告



生涯学習課所属

長谷川仁

はせがわ じん

地域芸術文化発展支援
活動1年目



平塩橋の譲り合い文化

私の住む平塩には、最上川に架かる小さな平塩橋があります。幅が狭いため車はすれ違えず、対向車がいるときは橋に入らず譲り合って渡ります。対向車と同時に差し掛かった場合はお互い一瞬戸惑いながらも、多くの人が譲ろうとしてくれます。大きな橋を望む声もありますが、住人の利用だけであれば、私にはこの橋で十分だと感じます。身の丈に合った暮らしの中で、譲り合いの文化が育まれてゆく。これからの時代を生きて行くヒントがあるように思います。